



歳出は、義務的経費については職員数の減少などにより人件費が減。投資的経費については、普通建設事業が終了したこと、災害復旧事業を進捗に合わせて大幅に減額したことによる減。積立金については、ふるさと納税の寄附金から、お返し等の経費を除いた残額を地域振興基金に積み立てます。

**【歳出】**

- ▽義務的経費 8082万7千円の減
- ▽投資的経費 7億9593万1千円の減
- ▽積立金 1億1025万1千円の増

# 28年度一般会計予算は 131億700万円 (前年度比3.2%減)

「第5次市総合計画」、「南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実現のため、子育て支援、防災対策など市民生活に直結する施策に重点を置いた予算を編成しました。主なものについて紹介します。

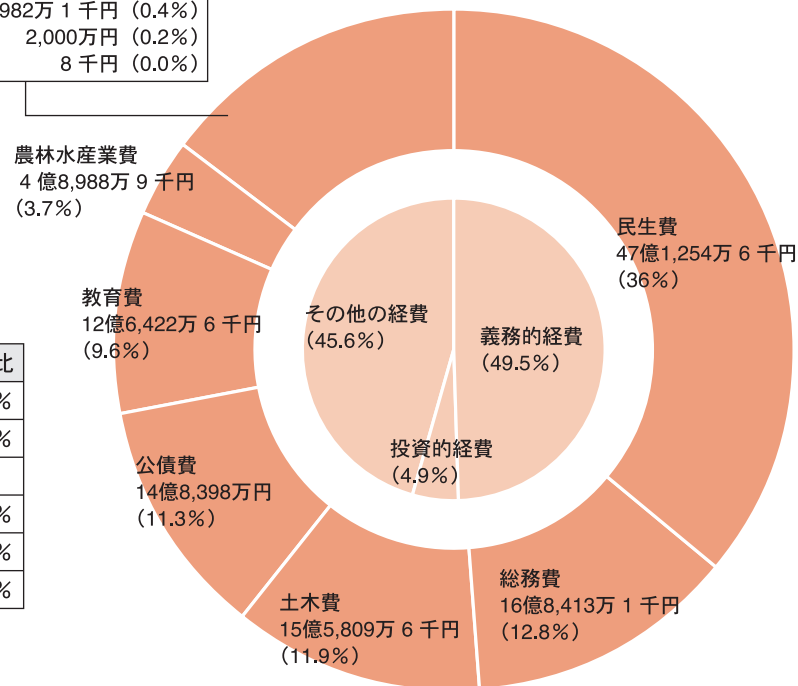
歳入は、市税が堅調に推移し、地方消費税交付金については、前年度の交付見込額等から大幅に増。地方交付税については、前年度実績などを勘案し前年度比1.2%の減。寄附金については、ふるさと納税は27年度当初予算の20倍となる3億円を見込んでいます。市債については、文化会館整備事業・防災行政無線事業が終了したことにより減額となります。

**【歳入】**

- ▽市税 544万9千円の増
- ▽地方消費税交付金 1億1800万円の増
- ▽地方交付税 5000万円の減
- ▽寄附金 2億8500万円の増
- ▽市債 8億3790万円の減

## 歳出

衛生費 6億7,970万7千円 (5.2%)	労働費 5,797万8千円 (0.4%)
消防費 6億2,922万2千円 (4.8%)	災害復旧費 4,982万1千円 (0.4%)
商工費 2億9,998万2千円 (2.3%)	予備費 2,000万円 (0.2%)
議会費 1億7,741万4千円 (1.4%)	諸支出金 8千円 (0.0%)



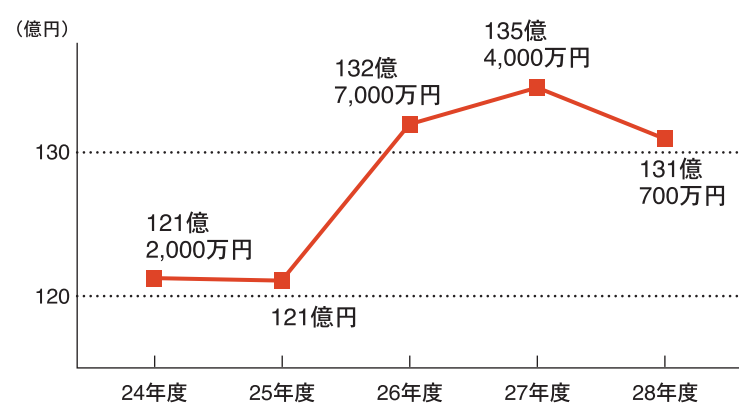
### 特別会計

区分	当初予算額	前年度比
国民健康保険	43億6,863万4千円	6.8%
財産区	8,727万2千円	△9.6%
小滝簡易水道事業	水道事業会計へ統合	—
育英事業	524万4千円	△12.1%
介護保険	30億3,947万6千円	△1%
後期高齢者医療	3億2,950万7千円	3.2%

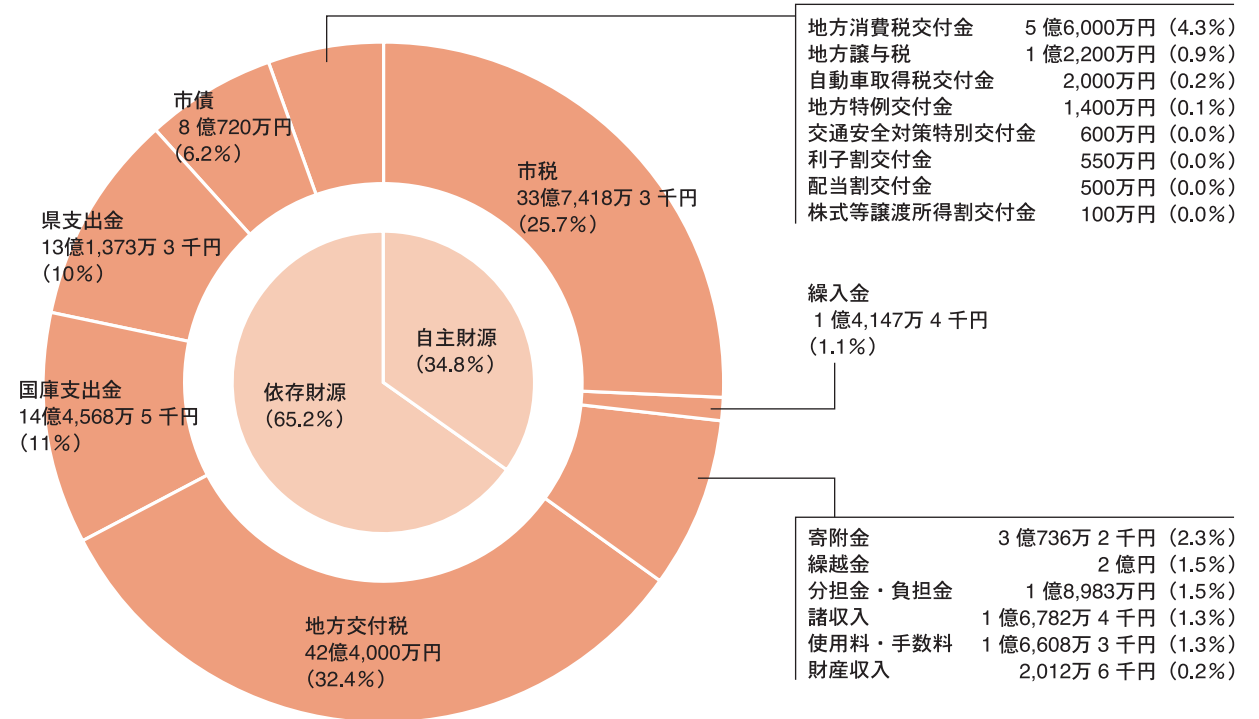
### 企業会計

区分	当初予算額	前年度比
水道事業会計	収益的収入	8億5,001万円 0.3%
	収益的支出	9億9,358万8千円 22.7%
	資本的収入	1億2万8千円 93.6%
	資本的支出	3億8,517万2千円 31.6%
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税および地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金で補てん。		
下水道事業会計	収益的収入	10億2,575万6千円 0.2%
	収益的支出	9億9,993万円 △0.6%
	資本的収入	7億3,463万9千円 6.8%
	資本的支出	11億613万9千円 5.5%
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てん。		

### 一般会計の当初予算の推移



## 歳入



( )は構成比

### 用語解説 (主な項目)

#### 【歳出】

- 義務的経費 人件費、扶助費など市の運営のために必ず支払わなければならないお金
- 投資的経費 施設や道路整備など、生活基盤を整えるために使うお金
- 民生費 高齢者、障がい者福祉や子育て支援などに要するお金
- 公債費 市の借入金の返済に要するお金
- 土木費 道路整備や維持管理などに要するお金
- 農林水産業費 農林業の振興に要するお金
- 総務費 市税の課税・収納や戸籍事務などに要するお金
- 教育費 学校教育などに要するお金

#### 【歳入】

- 自主財源 市が自主的に集められるお金
- 依存財源 国や県から交付されるお金や市債
- 市税 市に納める税金(市民税、固定資産税など)
- 繰入金 基金などから一般会計に繰り入れるお金
- 地方交付税 すべての市町村が一定の行政サービスを行えるように国が交付するお金
- 国庫支出金 市が行う事業に対して国が交付するお金
- 県支出金 市が行う事業に対して県が交付するお金
- 市債 借入金のうち長期にわたり返済するもの
- 地方譲与税 国税として集め、全部または一部が市町村に譲与されるお金